

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信

(No.33)

2011.5.10

もくじ

- 1 . 1 月 度 Abiesボランティア活動
ニホンジカの生息数調査・サポート
- 2 . 2 月 度 Abiesボランティア活動
演習林の冬の森を歩こう
- 3 . 平成 2 2 年 度 Abies通常総会
- 4 . 平成 2 3 年 度 Abies活動計画
- 5 . 千葉県森林インストラクター会とAbiesの交流研修会

1 月 度 Abies ボランティア活動

ニホンジカの生息数調査・サポート

千葉演習林におけるニホンジカなどの生息数調査が平成 2 3 年 1 月 2 7 日(木)、2 8 日(金)に行われ、岩崎(寿) 中原、藤田(貴)さんと石川(輝)の 4 名が参加しました。藤田(貴)さんは去年は参加できませんでしたが、かなり前からこの調査に参加している常連です。

調査担当区分の組み合わせは中原・藤田(貴)さん組と岩崎さん(一人) 石川(一人)の 3 組です。この調査は原則 2 回目の参加から初心者マークがとれて一人での調査となります。



調査区域は札郷管内 2 0 区分、清澄管内 2 3 区分、郷台管内 2 0 区分で各々担当者が配置され、ス

タート時刻をあわせ、その後1時間30分の間にシカなどに何頭出会えるか観察する方法です。

演習林職員20名とその他東京環境工科専門学校OBや我々ボランティア団体8名で計28名が参加した大規模な調査活動です。

この調査は集合時刻が8時30分と早い上に険しい山と谷の間を歩いて上り降りしなくてはならないハードな調査なので、例年、前泊させてもらっています。

特に初めての参加の場合、前夜に色々と調査の内容を教えてもらうことが出来て、当日朝の参加より肉体的にも、精神的にも楽になるので前泊されることをお奨めします。

今年の調査は1月27日(木)の午前中に札郷管内、午後は清澄管内、翌1月28日(金)の午前は郷台管内でした。この調査の期間内は天候にもめぐまれ、特に問題もなく順調に終了しました。

中原・藤田(貴)さん組はシカを見ることが出来たようですが、岩崎(寿)さんと石川(輝)は残念ながら見ることはできませんでした。シカを見ることが出来なかったということも、貴重な資料ですよといつもなぐさめられています。

シカの観察頭数は札郷管内8頭、清澄管内0頭、郷台管内17頭という結果でした。シカの観察数が0頭ということは清澄管内はもちろん他の管内でもなかった様です。

シカの生息数調査サポートはAbiesの活動の中では最も技術的(地図が読めることなど)または体力的(道のない所を上下するなど)に大変な活動ですが、それだけにおもしろいとも言えます。

演習林から頼りにされているサポート活動でもあり今後も継続参加をします。初参加の場合、それなりの配慮をしてもらえますので、Abies会員の皆さん来年はチャレンジされてはいかがでしょうか。

今回のスケジュールは次のとおりです。

26日(水)(清澄宿舎前泊)

27日(木) 8:30 清澄作業所集合, 調査方法の説明, 区画割り, 配置, 移動

(8:50 マイクロバス等に乗車, 札郷方面に移動)

10:00 札郷管内, 民地を調査開始

11:30 調査終了, 調査結果の取りまとめ, 昼食, 休憩(札郷)

12:30 区画割り, 配置, 移動

(12:40 マイクロバス等に乗車, 清澄方面に移動)

14:00 清澄管内, 民地を調査開始

15:30 調査終了, 調査結果取りまとめ, 総括(清澄)

16:30 解散

(清澄宿舎宿泊)

28日(金) 9:00 清澄作業所集合, 区画割り, 配置, 移動

(9:30 マイクロバス等に乗車, 郷台方面に移動)

11:00 郷台管内を調査開始

12:30 調査終了, 調査結果の取りまとめ, 昼食, 休憩(郷台)

14:00 総括, 解散

2月度 Abiesボランティア活動

演習林の冬の森を歩こう

“演習林の冬の森を歩こう”が平成23年2月5日(土)におこなわれました。当日の参加者は13名で1月31日(月)に行った下見は演習林の三次さんも含めて6名です。

日帰りの行事としては最近にない多くの参加人数です。久しぶりの休日(土曜日)開催なので、皆さん予定が組みやすかったと思われます。

“演習林の冬の森を歩こう”は、昨年まで演習林主催で、一般者を対象として行われていた行事でAbiesはサポート役として参加していました。しかし今年は演習林の諸般の事情により中止となりましたので代わりにAbiesの活動として実施しました。

今回のコースは清澄寺にゆかりのある清澄八山やその周囲を回って、自然観察だけでなく歴史も勉強できるコースを選びました。

清澄作業所を起点として大見山(内国樹種見本林) 仁ノ沢歩道 今澄高齡スギ人工林(樹齡152年) 十面沢 浅間山 清澄寺門前 毘沙門山 妙見山 清澄井戸 女人堂 涕淚石(独鈷山) 外国樹種見本林 清澄作業所です。

主な場所の紹介をします。

*大見山(346.4m)

清澄作業所より郷台林道を5分ほど歩くと南側に立つ山で千葉演習林の内国樹種見本林にもなっています。大見山という名前は近江山からの由来で近江地方から来た木地師(手回しのろくろを使って木の椀、盆、杓子などを作りだす工人)が居ついたことのある山といわれています。

ふもとに白虎になぞらえた石があります。その場ではどう見ても虎の形にはみえませんでしたが、写真を見ると確かに虎の形をしています。皆さんは虎に見えますでしょうか。



大見山の虎石

* 浅間山 (約 360 m)

本多静六先生が演習林設置の議を起こされた場所です。特に自然林の永久保存が図られている場所ですが、頂上部分は演習林ではなく清澄寺の所管です。

* 毘沙門山 (約 330 m)

清澄寺の祖師堂裏の一杯水林道を挟んでその西にあります。過去には巨大なスギがあったそうですが、現在は枯れて倒れてしまいわずかに痕跡をとどめています。

また、直径 2 m ほどの枯れた大きなスギの根元の空洞に小さなお堂がはめこまれて中に毘沙門天の木造が安置されています。前回来た時には中が暗くてよく見えませんでした。今回は懐中電灯を用意しましたので、なんとか拝観することができました。身の丈が 50 cm 近くあり、想像していたお姿より、大きく立派でした。

* 妙見山 377 m

清澄寺の大本堂裏手にある山でいわゆる清澄山です。千葉県では峰岡愛宕山 (408.2 m)、鹿野山白鳥山 (379 m) に次いで第 3 位の高さを誇る山です。頂上に妙見様を祭る大きな御堂があります。周囲の木が高くて展望がよくないのは残念です。

* 外国樹種見本林

清澄作業所から県道を安房天津の方面に下り、独鈷山を右に見ながらさらにくだと左手に外国樹種見本林と大きな字で書かれている標識があり、ここが外国樹種見本林の入口です。メタセコイアの林があり、若葉や紅葉の時期にぜひ見たいものです。また今までみたこともないようなニッケイの大木が数本あります。

ニッケイ： クスノキ科 クスノキ属

Cinnamomum okinawense

高さ 10 から 20 m、直径 40 から 50 cm になる常緑高木、根や樹皮に特有の香りがあり、お菓子の香料や健胃剤などの薬用として利用される。

(いわゆるシナモン)

中国原産の栽培植物と考えられていたが、沖縄の山中に野生のものもあることが分かった。

山と溪谷社 樹に咲く花 1 より



ニッケイの大木

3 月 度 A b i e s 通 常 総 会 報 告

事務局長 石川 輝雄

平成 2 2 年 度 千 葉 演 習 林 ボ ラ ン テ ィ ア 会 A b i e s の 通 常 総 会 は 平 成 2 3 年 3 月 1 7 日 に 行 う 計 画 で ご 案 内 し ま し た が、東 日 本 大 震 災 な ど の 事 情 も あ り、中 止 と さ せ て い た だ き ま し た。

新 年 度 に な っ て 落 ち 着 い て か ら 行 う こ と も 検 討 し ま し た が、旧 年 度 の A b i e s 会 員 と 新 年 度 の A b i e s 会 員 が 同 じ で は な い 現 状 の 仕 組 み で は う ま く 運 営 す る 方 法 が 見 つ か り ま せ ン で し た。

や む な く 議 案 書 を お 送 り し て 書 面 審 査 の 形 を と ら さ せ て い た だ き ま し た。

結 果、と く に ご 異 議 も な く 議 案 書 通 り で 承 認 い た だ い た も の と 理 解 し て い ま す。

今 年 は 愛 知 演 習 林 の 見 学 会 を は じ め 多 く の 活 動 が 計 画 さ れ て い ま す。活 動 に 参 加 い た だ く こ と に よ っ て、多 く の 会 員 の 皆 さ ん の 意 見 を 吸 い 上 げ、こ れ に 答 え て い く こ と が A b i e s 発 展 の カ ギ と 考 え て い ま す。

本 年 も よ ろ し く ご 協 力 お 願 い し ま す。



ヒカゲツツジの花

平 成 2 3 年 度 A b i e s 活 動 計 画

平 成 2 3 年 度 の A b i e s の 活 動 計 画 を 報 告 し ま す。今 か ら 予 定 に い れ て い た だ き 参 加 い た だ け る 様 に お 願 い し ま す。

な お、今 年 か ら 役 員 の 各 々 の 役 割 に 加 え て、活 動（行 事）に 対 し て 企 画・運 営 を す る 分 担 す る こ と に な り ま し た。新 し い 目 線 で 魅 力 あ る 企 画・運 営 を し て い た だ け る こ と と 期 待 し ま す。

会 員 の 皆 様、要 望 や 意 見 が あ れ ば お 申 し 出 ぐ だ さ い。

平成 23 年度の活動予定および担当者

	日 程		日数	内 容	*企画・運営
1	4月9日(土)～10日(日)	宿泊	2日	千葉県森林インストラクター会との交流研修会	石川(輝)、相川
2	5月23日(月)	日帰り	1日	森林博物資料館見学・清掃と春の造林研修会聴講	石川(輝)
3	5月27日(金)	日帰り	1日	春の自然観察会	石川(輝)
4	6月下旬の平日	宿泊	2日	演習林利用者説明会聴講	石川(輝)
5	8月2日(火)～4日(木)	宿泊	3日	高校生ゼミナールのサポート	石川(輝)
6	8月下旬	日帰り	1日	お月見研修会コースの歩こう下見と整備	西山、恵
7	9月上旬の土日	宿泊	2日	お月見研修会	西山、恵
8	9月下旬の平日	宿泊	2日	天津小の森の下刈り作業と林道路面手入れ	石川(輝)
9	10月15日(土)～16日(日)	宿泊	2日	愛知演習林見学会	岩崎、相川
10	10月下旬の平日	日帰り	1日	天津小学校 緑の教室サポート	石川(輝)
11	11月上旬の平日	宿泊	2日	秋の研修会聴講とクラフト作り	石川(輝)
12	11月下旬～12月上旬	日帰り	2日	秋の一般公開準備・片付け作業	石川(輝)
13	11月25日(金)、26日(土) 12月3日(土)、4日(日)	日帰り	4日	秋の一般公開のサポート	石川(輝)
14	11月下旬～12月上旬	日帰り	未定	演習林ガイド(依頼に応じて)	石川(輝)
15	1月上旬	日帰り	1日	冬の森を歩こうコースの下見と整備	中原、石川(輝)
16	1月中旬の休日	日帰り	1日	冬の森を歩こう	中原、石川(輝)
17	1月下旬～2月上旬の平日	宿泊	3日	シカ生息数調査	石川(輝)
18	2月下旬	日帰り	1日	総会后演習林を歩こうコースの下見と整備	岩崎・西山
19	3月中旬の休日	宿泊	2日	総会・演習林を歩こう	岩崎・西山

千葉県森林インストラクター会との交流研修会

千葉県森林インストラクター会（FIC）とAbiesの交流研修会が平成23年4月9日（土）から10日（日）にかけて行われ、Abiesからは累計12名が参加しました。

9日（土）はあいにくの雨降りとなり、君津の森での施業体験が室内講義に変更となりましたが、10日（日）は良い天気となり、スケジュール通り実行することができました。

今回の清澄周辺をめぐる自然観察会のコースは比較的短時間で房総の山、演習林の森をすべて観察できる典型的な条件をそなえていると思われますので、今後ともAbiesの活動にも利用させていただきたいと思います。ただし、浅間山は特に自然林の永久保存が図られている場所ですので、できるだけコースからはずす配慮が必要と思われます。



研修スケジュール

4月9日（土） 1日目

- ・FIC 遊々の森・君津の森見学
- ・FIC 君津の森 施業体験 室内講義に変更
- 以下演習林 清澄講義室・宿舎にて
 - ・座学
 - 部 : 千葉演習林の概要と第13期教育研究計画
 - 講師: 千葉演習林長 山田利博教授
 - 部 : 千葉の森林・林業について
 - 講師: FIC 寺嶋嘉春氏
 - ・交流会と懇親会
 - 「Abies活動紹介」
 - 「FIC活動紹介」
 - 懇親会
 - ・宿泊

4月10日（日） 2日目

- ・早朝 自然観察 (清澄大杉見学・野鳥観察・資料館見学)
- ・自然観察 コースは清澄宿舎 大見山(内国樹種見本林)
荒檜沢モミ・ツガ天然林 今澄スギ高齡林 浅間山
一杯水林道 清澄宿舎

千葉県演習林ボランティア会 Abies 通信 No.33

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川 輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321